



 地区ガバナーメッセージ
 2

 第 1・第 2 グループ IM 開催報告
 3

 第 6 グループ IM 開催報告
 4

 第 7 グループ IM 開催報告
 5

 真庭RC創立 40 周年記念式典・祝賀会報告
 6

 ガバナーノミニー・デジグネート紹介
 7

 クラブ報告
 8

 出席報告
 10

Governor's Monthly Monthly Communication

Rotary International District 2690 2022-23

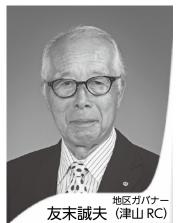
2022-23年度 国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンス 国際ロータリー第2690地区 (鳥取・島根・岡山) 2022-23年度地区ガバナー

友末 誠夫

Vol.12







ロータリー親睦活動月間によせて

野山が新緑に一変する活力溢れる季節を迎え、その新緑を仰ぎ見ながら酒の味も一段と風味が増します。活力溢れる新緑の季節を、"ロータリー親睦活動月間"と定めています。"IMAGINE ROTARY"を世界テーマに掲げたジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長は、「ロータリーの奉仕活動は、地域社会が喜ぶ活動を提供することが重要で"IMAGINE ROTARY"はそのための標語です! ただ単に昨日の出来事を思い出すだけの"IMAGINE"で

はなく、地域に役立つ、地域が喜ぶ社会奉仕活動を創出してください!」と、国際ロータリーの執務室で所信表明を熱っぽく語ったのです。

昨年7月から "IMAGINE ROTARY" 年度の本番開始以来 11 ヶ月が経過しましたが、その間、度々開催された同期ガバナー研修会で "IMAGINE ROTARY" の趣旨に応えた数々の新規の地域社会奉仕活動状況を聞くことが出来ました。

- ●山林の余地を活用して"シイタケ栽培で地域の特産"を方向付けたこと。
- ●働く母親の幼子の食事提供を行う"子供食堂"の運営を開始したこと。
- ●商店街の空き店舗を活用してピアノを設置し自由な音楽演奏の場を提供して商店街に活気を 取り戻したこと。
- ●高齢化による地域の伝統祭事の衰退をローターアクトやインターアクトの活動力で復活する ことが出来たこと。
- ●高齢者宅を見回って不具合を発見して所轄の役所や相談部署と連携して"地域見回り隊"を 創設し地域に安心を提供していること。
- ●子供の創造心を培う工作教室を設けて地域の子供の立体創造教育を提供していること。

これらの新しい奉仕活動は、ロータリークラブがそれぞれの委員会を設けて実施、係る費用はロータリークラブの委員会運営年次寄付で賄われているのが大半の様です。そしてこれらの活動に取り組むには、"ロータリーは地域社会に良いことをしよう!"を共通のスローガンとして、実現出来たと云います。一様に関係者の喜びを感じ取ることが出来ましたが、これらの地域社会奉仕活動は、当然ながら地域特性がありますので全て一様に方向付かない場合もあると思います。ガバナー会での意見交換では"地域社会への奉仕活動を方向付けるには率先性に長けたリーダーの存在が不可欠である"ことが強く印象付けられ、云うまでもなくその様な人物の発掘と共に事業への事前調査も不可欠な要素であります。この様な地域への奉仕活動の連鎖を引き起こすために私達は親睦を深めて相互信頼や個々の誠意と共に"IMAGINE ROTARY"の趣旨に応えて日差しが届かない部分に人間愛を提供して地域を喜ばせましょう!



第1・第2グループIM開催報告

国際ロータリー第 2690 地区第 1・第 2 グループインターシティミーティングを令和 5 年 4 月 9 日 (日) 倉吉未来中心大ホールにて 475 名の登録を頂き開催いたしました。来賓として鳥取県中部総合事務所長、鳥取県中部 1市 4 町の首長、伊藤文利、庄司尚史、岩﨑陽一の各パストガバナー、石倉貞昭ガバナーエレクト、山下卓治第 1 グループガバナー補佐、福井龍介第 2

グループガバナー補佐のご臨 席を賜るとともに、地区から は友末誠夫ガバナー、河本秀 生代表幹事をお迎えいたしま

した。皆様に御礼申し上げますとともに、コ・ホストクラ ブの米子東ロータリークラブの皆様にも感謝申し上げます。

さて、現在の世界はロシアのウクライナ侵攻の解決、 CO_2 の削減、新型コロナウイルス感染症からの脱却等といった SDGs のゴールとはほど遠い不安定な状況にあります。また、足もとの日本でも特に地域の次世代を担う人材に乏しく、担い手不足の状況にあります。



そこで、今回の IM は、テーマを「イマジン未来への展望」といたしました。我々ロータリアン、1人1人は過去と未来をつなぐ1つ1つの歯車に過ぎませんが、ロータリーとして輪になれば、過去と未来をつなぐ現在の担い手としての役割を果たし続けられるものと思います。

このような未来を支える青少年の育成を考えるという視点から鳥取県副知事亀井一賀様に基調講演、エネルギーから地域経済を考えるという視点から株式会社鈴廣蒲鉾本店取締役相談役・小田原箱根商工会議所会 頭の鈴木悌介様に記念講演をお願いいたしました。

基調講演の演題は「次代の青少年像」。

鳥取県の現状と課題そして解決策等について広く・深く・具体的にお話を頂きました。鳥取県は暮らしやすさが全国トップクラスであること、令和3年度年間移住者数が2,368人と子育て世代の移住が好調であること、新しい働き方を推進(ワーケーション、副業・兼業)していること、日本一の子育て王国、一歩先行く子育て支援をして子育て環境日本一を目指していること等について具体的施策等も交えてお話し頂きました。

一方で、若年層の県外流出の現状についてもお聴きしました。

さらに、鳥取県青少年健全育成条例、「とりふる」による若者Uターンの促進等様々な取組もご紹介頂きました。 記念講演の演題は「エネルギーから経済を考える~未来へつなぐ地域のために~」。

鈴木様のロータリー歴は長く、2012年には国際ロータリー第2780地区第9グループガバナー補佐も歴任されておられます。

2011.3.11 の東日本大震災の 3 日後の福島第一原発の爆発で様々な経験をされたことを踏まえ、日本商工会議所青年部会長時代の知己と協力して 2012 年 3 月 20 日に「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」(エネ経会議)を設立されました。

エネ経会議の様々な活動の一端を紹介して頂きました。活動の柱は2つ。1つが賢いエネルギーの使い方を学んで実践する=省エネ。2つ目が地域で再生可能エルネギーの地産地消の仕組みをつくる。再生可能エネルギーの地産地消の仕組みをつくることが、地域経済にとって極めて重要で効果的であることを実感しました。因みに、毎年20兆円程度が発電燃料の輸入代金として中東などの国外に流出している。仮に1割減

らせば2兆円は国内に貫流させることができる。2兆円は消費税を1%増税するのと同じくらいだそうです。地域で使うことのできる新たなお金が生まれ、かつ、脱炭素にも資することになります。

その後場所を倉吉シティホテルに移しての懇親会。約200人のロータリアンにご参加頂き、楽しく、和気藹々として時が過ぎお開きとなりました。IMの終了です。

皆様ありがとうございました。







第6グループIM開催報告

3月26日(日)午後1時、定刻、静寂に包まれた高梁国際ホテルクリスタルホールに武南俊明ガバナー補佐の点鐘の音が響く。そして私の開会宣言、程よい緊張感で無事終えた。いよいよ I Mの始まりである。

ここ4年間は、コロナの影響で満足な I Mを開催することができなかった。武南ガバナー補佐の強い願いと第6グループの会員の熱い思いが4年ぶりの一堂に会しての懇親会を含む開催につながった。

IM実行委員会を立ち上げた頃は、オミクロン株が猛威を振るっており、あらゆる場面を想定しての

準備は当クラブの創立50周年と重なり煩雑と多忙を極めたが、心から頼れるすばらしい仲間と優秀な事務局に助けられた。本会議当日は、コロナ対策そして会場に足を運ぶことのできない会員の為にもユーチューブ配信で対応した。



本会議には、友末誠夫ガバナーはじめ河本秀生地区代表幹事、福嶋啓祐次期ガバナー補佐のご臨席を賜わり、また基調講演の講師として佐藤芳郎RI理事、そして記念講演には高梁教育委員会参与の田村啓介様を迎え、第6グループ258名の全員登録のもと多くの会員の参加を得て盛会に開催することができた。



基調講演の佐藤R I 理事には『ロータリーの現状とこれから』というテーマで話していただいた。世界のロータリアン数は1996年に120万人を超えその後は横ばいであり、インド、北・西アフリカ、ドイツ、そしてアジア地域がここ10年で会員数が増加しており、反対にフランス、アメリカ、カナダ、オーストラリア等が減少している。日本においては、2018年頃が最も多く最近は減少していて昨年で8万2千人程である。また世界では会員の25%は女性であるのに対し日本は7%である。

そして、もう一度何の為にロータリーに在籍しているのか?ロータリーの価値 とは何か?なぜ会員を続けているのかを自分自身に問いかけて欲しい。また、ロー

タリーは種々の機会の扉を用意してくれているので、どの扉を開くかをロータリアン各自で決めて活用して欲しい。そして R I はいつの時代もその時代に合わせて進化していますと話され、今一度ロータリーを顧みる良い機会となった。

記念講演では田村啓介氏に『日本遺産「ジャパンレッド」発祥の地〜弁柄と銅の町・備中吹屋〜』というテーマで話していただいた。日本遺産とは、文化庁が認定した地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーである各地域の魅力が溢れる有形・無形の文化財群を地域が主体となって整備活用し、国内外へ発信することで地域活性化を図ることを目的とした文化遺産保護制度である。2020年全国で102番目(全国では104遺産)に高梁の吹屋地区が認定され、いかにして弁柄の「赤い町並」が誕生したか、そして吹屋の銅が三菱の発展の礎を築いたかを現存する遺構を具体的に紹介しながら、また吹屋の発展が第6グループの各地域とどの様に関わってきたかを色々な例を挙げ話された。

さらに参加されている第6グループの各地域にもそれぞれ特有の文化遺産があり、それを掘り起こすことでそのまちがより輝いてくるので是非取り組んで欲しいと熱く語られた。

そして、武南ガバナー補佐が一番楽しみにしていた 懇親会では、あふれんばかりの笑顔が会場全体を包み こんだ。

また、この I M本会議に先立って3月12日にパインツリーゴルフクラブで開催した親睦ゴルフ大会では50名を超える参加者の歓声が早春の山々にこだました。そしてこの親睦ゴルフと本会議でのポリオ募金には、65,839円の貴重な浄財が集まった。

I Mのおかげでロータリーの良さを再認し入会して 良かったと思った。皆様に感謝!ロータリーに感謝!





第7グループIM開催報告

2023年3月19日(日)13時より、倉敷アイビースクエア で開催いたしました。

4年振りの開催で過去の事を思い出しながら、I.M の従来の目的である「会員相互の親睦と知識を深める」を考え、会員全員で取り組みました。

来賓には、友末地区ガバナー、森田パストガバナー、河本地区代 表幹事、山本次期ガバナー補佐をお迎えしました。

講演は、SDG パートナーズの田瀬和夫先生による、「SDG s とカーボンニュートラルの論点、そしてその先の未来へ…」と題し、とても貴重な講演を拝聴しました。

パネルディスカッションは「Imagine Rotary ~みんなでカーボンニュートラルを考える」 と題し、水島コンビナート企業の代表 (会員)にパネラーとして企業の現状と今後の課題を発 表してもらい、有意義な討論が出来たと思います。

懇親会は、森田パストガバナーの乾杯で開宴し、楽しい雰囲気で開催できました。

アトラクションも五次元キーボード奏者の数井佑介さんをお迎えし、素晴らしい演奏で会場 の皆様に聞き入っていただけました。

最後はロータリー恒例の「手に手つないで」を手に手つながず全員で熱唱し、閉演しました。 久々の I.M 開催で他クラブとの交流がない 4 年間でしたが、「これでこそロータリー」を実 感し有意義な 1 日だったと思います。

改めまして、ご協力を賜りました関係各位に心からの感謝を申し上げます。 ありがとうございました。







創立40周年記念式典・祝賀会を終えて

4月25日 真庭ロータリークラブ創立40周年記念式典及び記念祝賀会を真庭市勝山文化センターで行いました。猛威を振るったコロナもおさまりかけ、また会場の文化センター周辺の多くの桜も咲きかけた天気の良い日に、第2690地区友末誠夫ガバナーをはじめとするロータリー関係者・真庭市内奉仕団体関係者・行政関係者・報道関係者をご来賓として迎え、会員及びパートナーの約80名で盛大に開催できました。

リークラブをスポンサークラブとして会員 18 名でスタートし、一時は 50 名に迫る時期もありましたが現在は 30 名の会員となっています。

式典では、物故会員に対しての黙とうがささげられたあと、会長からこれまでの活動に対しての御礼と、真庭クラブがこれまで、取り組んできた、真庭地域内小学生と岡山大学留学生との国際交流・真庭地域内中高生を対象とした英語スピーチコンテスト・福祉施設との交流事業等の活動の紹介があり、これからもご支援をとの挨拶がありました。

2690 地区友末誠夫ガバナーより新しいロータリーの意識次元 D.E.I を日頃のロータリー活動に活用して、50 周年 100 周年に向けて御伸展をと挨拶をいただきました.

真庭ロータリークラブでは創立 40 周年記念事業として、4 月 8 日土曜日午前に真庭市内外から 10 団体を迎えての、真庭青少年演武会・午後からは「地域から見える未来」日本が考えるべき持続可能な社会 と題して、澁澤寿一氏記念講演とともに、当日はエンドポリオの募金を合わせて行うことの発表を行い、参加協力を呼びかけました。

また、スポンサークラブの津山西ロータリークラブ小椋章光会長・真庭ロータリークラブ第36 第代から第40代会長・事務局員に対しての感謝状の贈呈が行われました。

サプライズとして、真庭クラブが行ってきた国際交流・英語スピーチコンテスト・福祉施設との交流の構築に尽力いただいた高田為行第 21 代・第 40 代会長夫妻に感謝状の贈呈を行いました。

30年間100%出席者の山田雅晴会員と中井靖典会員の表彰に続き、真庭ロータリークラブで唯一のチャーターメンバー豆原義重会員より映像を交えた40年の歴史の紹介がありました。

式典から祝賀会に移行する時間に、新庄村の餅つき隊による威勢のいい餅つきが行われ、つきたての杵つき餅(ヒメノモチ)が参加者にふるまわれました。

祝賀会では、オープニングに居合道師範 山渋氏による真剣での演武のあと、真庭ロータリー クラブ会長・幹事が真剣にて藁人形を実際に伐るというサプライズもありました。



式典・祝賀会会場はホテルではないため、真庭地域の方々にお世話になった食材・お酒での手作り感のあるものでおもてなしを行いました。



開催に当たり、クラブ創立時の先人のご尽力に 感謝するとともに、来賓の皆様をはじめ、真庭地 域の皆様にお世話になり創立 40 周年が迎えられ たことにお礼申し上げます。

ガバナーノミニー・デジグネート紹介



坂 口 元 昭

生年月日 1965年1月1日 職業分類 石油販売

1989年 3月 成城大学経済学部経済学科 卒業

1989年 4月 コスモ石油株式会社 入社

1994年 1月 山陰石油株式会社 入社

2005年 5月 山陰ジーエス・ユアサ株式会社代表取締役社長

2007年 1月 山陰石油株式会社代表取締役社長 現在に至る

【公職】

鳥取県石油協同組合 理事長

一般社団法人全国石油協会 副会長

全国石油商業組合連合会・全国石油業共済協同組合連合会 理事

全国石油商業組合連合会中国支部 副支部長

米子商工会議所 常議員

米子地区防火安全協会 会長

一般社団法人米子青年会議所 第 45 代理事長

2009年 11月 米子南ロータリークラブ 入会

2017年 7月 2017-18年度クラブ会計 (副幹事)

2018年 7月 2018-19年度クラブ幹事

2021年 7月 2021-22年度クラブ会長

ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3)



2023年 4月

地区だより

















鳥取RC

明男 長谷川清彦 福嶋 鳥取RC

明子 水野 正貴 角田 祐道 鳥取西RC 鳥取西RC 境港RC

秀佳 米子RC

渡部 憲政 中川章 米子RC 松江東RC



















松江南RC

貴博 坪井 松江南RC 松江南RC 隠岐西郷RC 隠岐西郷RC 隠岐西郷RC

克樹 内田 伸治 三好 英世 荻野 宏貴 飯塚

平田RC

洋道 伊藤 出雲南RC

堅志 手錢 孝介 坂手 洋介 大社RC 江津RC





















渋谷 宗博 日下 益田西RC 益田西RC

英之 仮谷 寬志 倉敷RC

髙本 均 倉敷RC

喜多 倉敷RC

重厚 秋山 英昌 馬場

倉敷東RC 倉敷南RC 倉敷南RC

始三 小野田久彦 安良田裕彦 勅使 由仁 備前RC 岡山RC





















岡山RC

石崎 真哉 小松 隆宏 神山 和巳 朝倉真理子 澤田 誠司 岡田 憲一 森本 岡山RC 岡山RC

宏治 北市 哲一 久保 岡山東RC 岡山北西RC 岡山旭川RC 岡山南RC 岡山南RC 岡山南RC

宏之 中田 秀哉



石川 修作 岡山岡南RC







青木 聡 野村 千愛 益田西RC 益田西RC

ロータリー財団への寄付







津村 徹夫 足達 明彦













菅野 紘 又賀 敬子 大原 利憲 延原 正 小林 弘幸 松江南RC 松江南RC 松江しんじ湖RC 岡山旭川RC 岡山南RC 玉野RC





倉吉RC















境港RC



境港RC



井戸垣昌延 大平 倉吉RC

純二 森下 泰年 牧浦 倉吉東RC 鳥取北RC 鳥取北RC

繁雄 庄司 尚史 三輪

境港RC

昌輝 酒井 博淳

境港RC

昇 渡辺

渡邉 一徳 米子RC





















高砂 明弘 槇野 良文 大谷 厚郎 杉原 朋之 大島 淳司 木村 文彦 倉本 給都 佐々木良二 佐藤 林平 高田 慎也 平田RC 平田RC 平田RC 平田RC 平田RC 平田RC 浜田RC 浜田RC 笠岡東RC 笠岡東RC

0		
1	2	
	3	
	1	





岡﨑 秀紀 西下 岡山東RC 岡山東RC

l	儶		١
۱	~	-	ħ,
1	1		
'	W		1

境 港RC	90.23 ドル	高 梁RC	505.68 ドル
松江東RC	330.00 ドル	真 庭RC	587.00 ドル
平 田RC	1,500.00 ドル	美 作RC	470.00 ドル
笠岡東RC	1,560.00 ドル	玉 野RC	1,052.63 ドル
総 社RC	····· 69.47 ドル		

クラブポリオプラス

\vdash	=	\rightarrow	`左	`/ 	基	Δ
• /	_		#		本	717

鳥		取RC	・ 384.87ドル(ミリオンダラーミール)
鳥	取	北RC	42.84ドル (新会員寄付)
境		港RC	2,977.44ドル
		(その	他 忘年家族会のオークション収益金ほか)
<u>\\\\</u>		⊞RC	185.00ドル
笠	畄	東RC	… 3,900.00ドル (財団の友100ドル寄付)
総		社RC	・ 352.33ドル(ミリオンダラーミール)
高		梁RC	1,150.00ドル
畄	Щ	東RC	10.23ドル (新会員寄付)
岡山	」丸の	D内RC	···· 518.80ドル (ミリオンダラーミール)

法人寄付

松 江RC	①松江土建㈱
松 江RC	②松江土建㈱
松 江RC	三菱電機株
松 江RC	
松江南RC	
松江南RC	
松江南RC	明治安田生命保険(相)松江支社
松江南RC	東京海上日動火災保険㈱山陰支店
松江南RC	山陰中央テレビジョン放送㈱

クラブ冠名基金(恒久基金 シェア)設立

岡山RC -------岡山RC創立90周年記念基金

メモリアル・コントリビューター

倉 吉RC 中村 輝彦 亡母 中村 幹子のために 倉 吉RC 井戸垣昌延 亡父 井戸垣澈男のために 倉 吉RC 津村 徹夫 亡父 津村 博典のために 米 子RC 渡邊 一徳 亡父 渡邊研一郎のために

米山記念奨学会への寄付

米山功労者











楠 明彦 太田 好宣 下迫 博幸 津山西RC 鳥取北RC 鳥取北RC 米子東RC 児島RC

クラブ特別寄付

------ 50,000円 (米山ランチ) 松江東RC 笠 岡RC ------ 25,344円 (米山ランチ) 笠岡東RC ------ 22,200円 (米山ランチ)

クラブ普通寄付

倉敷中央RC -------40.000円

出席報告(2023年4月)

	クラブ名		ホームクラブ	例会		会員数 4月 内女性 4倍3			
	, ,	7 '11		出席率(%)	会数	7月1日	末日	会員	増減
	智		頭	85.00%	4	5	5	0	0
	倉		吉	79.47%	4	40	40	1	0
	倉	吉中	央	62.50%	4	18	18	2	0
第一	倉	吉	東	77.78%	3	47	44	5	_ 3
グル	鳥		取	76.02%	3	57	58	3	1
ループ	鳥	取中	央	74.14%	2	32	29	2	▲ 3
7	鳥	取	北	70.59%	4	47	47	6	0
	鳥	取	西	73.62%	3	56	56	3	0
	1	J\計(8)	_	_	302	297	22	_ 5
	境		港	73.91%	3	43	44	1	1
第	米		子	63.29%	3	67	70	5	3
	米	子中	央	83.97%	3	40	44	2	4
グル・	米	, 子	東	57.62%	2	105	107	13	2
ープ	*************************************	 子	南	70.18%	3	70	69	5	<u> </u>
ľ		 小計(5		_	_	325	334	26	9
	松		江	84.52%	3	63	63	1	0
		 星クラ		75.00%	2	10	10	5	0
第二	松	江	東	82.96%	3	46	46	4	0
ニグル	松	 江	南	83.63%	3	63	62	4	_ 1
	-	 [しんし		75.19%	3	44	47	11	3
プ	-	岐西		75.82%	4	21	25	2	4
	-	J\計(5	_	_	_	247	253	27	6
	平		田	83.45%	4	34	37	1	3
第	出		雲	84.06%	3	49	47	1	▲ 2
第四グル	出	雲中	央	81.68%	3	46	47	3	1
	出	雲	南	82.04%	4	78	84	7	6
ププ	大		社	63.57%	3	50	51	4	1
	1	J\計(5)	_	_	257	266	16	9
	江		津	72.11%	4	38	39	2	1
第	浜		田	69.05%	3	53	56	3	3
第五グループ	益		田	63.16%	3	18	19	2	1
Í	益	田	西	66.41%	4	28	32	2	4
プ	大		田	76.00%	3	25	25	3	0
	1	J\計(5)	_	_	162	171	12	9
	井		原	66.67%	4	42	41	1	_1
	笠		岡	89.62%	4	46	48	3	2
柸	笠	岡	東	90.27%	3	40	39	0	_1
第六グループ	新		見	72.46%	3	21	24	3	3
グル	総		社	80.49%	3	16	14	2	▲ 2
	総礼	吐吉備	路	72.41%	4	25	29	1	4
	高		梁	81.08%	4	36	37	1	1
	玉		島	91.57%	4	29	27	4	▲ 2
	1	」、計(8)	_		255	259	15	4

			会員数				
	クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	7月1日	4月 末日	内女性 会員	増減
	児 島	68.42%	2	21	20	0	1
	児 島 東	90.00%	3	11	11	0	0
44	倉 敷	87.32%	4	73	77	1	4
第七グル	倉 敷 中 央	82.05%	3	15	16	5	1
グ	倉 敷 東	85.71%	4	34	30	3	4
Î	倉 敷 南	67.03%	2	58	57	3	▲ 1
	倉 敷 水 島	76.74%	3	20	19	0	▲ 1
	倉敷瀬戸内	62.04%	3	38	37	1	▲ 1
	小計(8)	_	_	270	267	13	▲ 3
	真 庭	70.83%	4	31	30	1	▲ 1
第	美 作	83.54%	3	26	27	2	1
第八グル	津 山	63.71%	4	100	97	5	₽ 3
ルー	津山中央	95.45%	2	13	12	3	▲ 1
プ	津 山 西	73.91%	3	35	34	4	_1
	小計(5)	_	_	205	200	15	▲ 5
	備 前	64.24%	4	41	43	5	2
第	岡 山	77.96%	4	114	117	7	ε
第九グル	岡山東	86.85%	4	94	97	1	ω
ルー	岡山北西	75.42%	4	40	45	2	5
プ	岡山後楽園	63.55%	4	51	50	0	_1
	小計(5)	1	_	340	352	15	12
	岡山旭川	53.64%	4	34	38	1	4
第	岡山中央	66.67%	4	26	25	5	▲ 1
第十グル	岡山北	64.67%	3	50	50	4	0
	岡山南	71.26%	4	160	157	20	▲ 3
プ	玉 野	75.00%	4	27	26	0	▲ 1
	小計(5)	_	_	297	296	30	▲ 1
	岡山備南	84.75%	4	21	19	1	▲ 2
第	岡山城	82.46%	3	20	21	1	1
第十一	岡山岡南	79.35%	4	19	25	2	6
グループ	岡山丸の内	62.38%	4	48	51	3	3
	岡山西	72.90%	4	68	67	10	▲ 1
プ	岡山西南	75.13%	4	50	50	7	0
	小計(6)	_	_	226	233	24	7

地区クラブ内の状況

65 RC
2886 名
2928 名
215 名
42 名
75.29 %

Governor's Monthly Communication 2022-23

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
友末誠夫地区ガバナー事務所 〒708-0022 岡山県津山市山下30-9 津山商工会館3階
TEL. 0868-35-2690 FAX. 0868-35-2692 E-mail. office@2022-rid2690.jp Web. https://2022-rid2690.jp

